

令和4年度予算審査

税金の使い方が決まりました

市長から、令和4年度の予算案が提出され、議長以外の全議員で構成する予算決算委員会において、内容を審査しました。

審査の結果、全ての予算を可決し、令和4年度の税金の使い方が決まりました。

■ 特別会計の内訳

国民健康保険特別会計 80億5,951万円

後期高齢者医療特別会計 9億2,698万円

■ 企業会計の内訳

水道事業 (収益的支出) 12億1,531万円

(資本的支出) 6億3,477万円

下水道事業 (収益的支出) 25億2,276万円

(資本的支出) 12億1,970万円

総額	430億5,902万円 (前年度比 +8億3,370万円)
一般会計予算	284億8,000万円 (前年度比 +8億5,000万円)
特別会計予算	89億8,648万円 (前年度比 +1億3,460万円)
企業会計予算	55億9,254万円 (前年度比 -1億5,090万円)

「新たな価値により、

未来へステップアップ」予算

市の財政状況は、依然として行政需要に対する収入規模のアンバランスが解消しておらず、社会動向を踏まえ、地域活力を維持していくために、一層の支出適正化と長期的な財源確保策を構築する必要があります。

そこで、令和4年度予算編成は、感染症の影響により先行きが不透明な状況ながらも、「総合計画第16期実施計画」に掲げる施策を着実に推進させつつ、地域の魅力を磨き、社会基盤を充実させ、コロナ後の新しい社会を見据えた取り組みを展開するための「新たな価値により、未来へステップアップ」予算案が、市長から提出されました。

令和4年度の重点施策

- ① 住んでみたい・訪ねてみたいまちづくり
- ② 住み続けたいまちづくり
- ③ 未来につながるまちづくり

▽予算決算委員会での審査は

8・9ページ

